

(学校運営協議会・報告様式)

令和3年度 第1回 鈴西小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和3年5月11日(火) 10:00～11:30

2 場 所 多目的ホール

3 あいさつ(委員長, 学校長)

(1) 委員長より

コロナ禍で子どもたちがのびのびできていない。  
早く終息してほしい。

(2) 学校長より

○ 4月始業式始まってから今日までの教育活動について

○ 今後の行事の見通しについて

・ 6年生の修学旅行は県内に決定。このことに伴い5年生社会見学も県内とした。

・ 水泳授業は今年度も中止。

理由は、更衣室の密を回避するため、別の場所を確保することが、校舎の構造上(オープンスクールのため)難しいため。また、指導中の子どもの距離を取るなどが難しいため

・ フリー参観は、3密回避が難しいこと。市教育委員会からの通知もあり中止。

・ 引き渡し訓練は、今後の豪雨災害等に備えやっておいた方がいいと判断し、昨年同様地区別の分散で実施する。

・ 予定している行事等については、今後の状況により中止等の変更もあり得る。

○ このような状況下ではあるが、子どもたちには行事を通していろいろなことを体験させてあげたい。

(3) 自己紹介

本年度第1回の協議会のため、全委員に自己紹介をお願いした。

4 協議内容

(1) 学校経営方針について

ア 学校長より説明

イ 協議内容(○:委員の発言 ▲:回答等)

○	図書館を見せてもらった。以前に比べて高学年向きの蔵書が増えた。本が揃っている。さらに子どもたちが読みたい本の充実を考えてほしい。 書く力については、1年生から段階を追っての指導が必要。どのように指導をしていくのか、工夫してほしい。 たとえば日記を書かせるにしても、日記に書けるような体験をいっ
---	--

	<p>ばいさせてあげてほしい。</p> <p>人権教育の項目については、6ページに「認め合い、高め合う態度」の育成が書いてある。また、7ページには「教職員の受容・共感の姿勢で児童との関わりを深める」は大事で、このような姿勢で教職員が臨めば、子どもにとって学校が居場所となると思う。</p>
○	<p>ICT はタブレットと認識していいのか？また、そのように使わせていくのか？</p> <p>例えば、漢字を調べることも ICT を活用して自分で調べるような活用方法もある。ICT を活用して「自分なりに調べる」こともできるし、「検索の仕方」も活用することで学んでいけるのではないかな？</p>
▲	<p>Windows 端末より安価な Chromebook を導入し、児童 1 人 1 台が実現した。</p> <p>調べ方については、ICT では瞬時に調べたことの結果が出てくるが、辞書や本を活用して苦労して自分で調べるなど、調べ方は様々。苦労したほうが覚えていることもある。</p> <p>どちらか一方ではなく適した使い方ができるといい。</p> <p>これからは、ICT を活用して「調べる→書く→他者に理解してもらう（プレゼン力）」が大事になってくる。たてわり班活動を通してこのような力を付けることも目的としている。</p>
○	<p>令和 4 年度に研究発表があると言っていたが、その時には、たてわり班活動を通して総合的な学習を行うことを発表するのか？</p>
▲	<p>サーチ学習（探求学習）をたてわり班で行うことを考えている。ただ 1～6 年生のたてわり班では難しいこともあるため、低学年（1～3 年生）のたてわり班と高学年（4～6 年生）のたてわり班でテーマを絞って学習活動を行っていく。また、サーチ学習で付けた力を教科の学習活動にどう生かしていくかも研修主任と検討中である。</p> <p>また、SDGs をテーマに考えている。</p>
○	<p>このような学習活動については、先生の関わり方が難しい。</p>
▲	<p>評価についても検討するべきことが多い。</p> <p>本校の児童数なのでできるのかと考えている。</p>

## 5 情報交換・その他

- (1) 今年度もキッズウィークの取組がある。8月20日(金)に授業を行い、10月8日(金)に休業日とする。
- (2) 卒業式の児童の服装について、運営協議会で協議していただき、保護者への通知を行っている。今年度は、既に6年生の保護者に通知を行った。
- (3) いじめ防止基本方針について  
鈴鹿市いじめ防止基本方針の改定を受け、本校の基本方針も改定した。
- (4) 学校ボランティアについて  
先ほど、経営方針でもふれたが、コロナ禍のためなかなか活用できない現状がある。  
ただし、例年地域にお願いしている「ながら見守り」への登録はお願い

したい。1年ごとに登録しなおしが必要なため、昨年度登録いただいた方も、今回のプリントで再度登録をお願いします。

(5) コミュニティ・スクール研修会について

5月14日に開催される。学校長と委員長は参加する。もし、各委員の中で希望があれば、前日までに教頭まで連絡をお願いします。

6 教育支援課 杉谷先生よりご講評

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域が子どもを三者一体で育てていく仕組み。

先日のコーディネータ研修会で鈴西小の実践発表を委員長にさせていただいた。

その実践発表の中で、学校行事「森のまつり」は、初めは学校が主体で行っていたが、地域が応援に入り、その後、保護者も巻き込んで地域主体の行事となっていた。

また、昨年度はコロナ禍で学校支援が難しい状況ではあったが、地域が主体的に子ども支援を行い、わらアートを行った。

これからは、頼まれてやるのではなく、地域が主体的に取り組んでほしい。

来年度に向けて、SDGsをテーマとして取り上げていくのであれば地域の教材を活用し、連携して学習活動ができるのではないかな？

7 授業参観

今年度の子どもたちの様子をしていただくために、コロナ対策を十分取って3限目の授業を各委員に参観していただいた。参観後は流れ解散とした。